



■中学校・国語

7月13日(金)14:30~16:30

演題 「育成すべき資質・能力を明確にした
国語科の授業づくり 一 移行期間の
1年目に取り組むこと」

講師 文部科学省 教科調査官

杉本 直美 先生

移行期間の1年目である本年度、何をす
べきか、そして、授業のどこを改善すべ
きかについて、学習指導要領解説をもとに学
ぶことができました。



■小学校・算数

8月1日(水)14:30~16:30

演題 「全国学力・学習状況調査の結果と新
学習指導要領から見る、これからの
算数科授業の改善・充実の方途につ
いて」

講師 福島県教育庁 義務教育課

主任指導主事 小松 信哉 先生

全国学力・学習状況調査の問題、解説資
料、授業アイデア例等が授業づくりに直結
することを具体的にご教授くださいました。



■中学校・数学

8月20日(月)9:30~11:30

演題 「新学習指導要領の趣旨を踏まえた中
学校数学科の授業づくりについて」

講師 文部科学省 教科調査官

水谷 尚人 先生

中学校数学科の授業づくりについて、具
体的に実際の授業事例と共に講義をしてい
ただきました。学力調査問題が新学習指導
要領の趣旨を問題の形で伝えていることや、
日々の授業を改善する手立てになることを
学ぶ充実した研修となりました。

授業改善研修

「小学校国語」

11月30日(金)

14:10 ~ 16:30

講師 京都女子大学 教授
水戸部 修治 先生

対象 小学校



シリーズ研修「新学習指導要領」

授業改善研修「中学校・理科」

11月28日(水)

13:35 ~ 16:30

講師 東洋大学 教授
後藤 顕一 先生

対象 小・中学校



公開授業や講義を通して、授業改善の方途について学ぶことができます。

今後の授業改善研修
(公開授業)の予定

中学校数学	10月10日(水)
中学校社会	10月15日(月)
中学校国語	10月30日(火)
小学校外国語	11月 6日(火)
小学校理科	11月14日(水)
小学校社会	11月19日(月)
小学校道徳	11月20日(火)
中学校英語	11月20日(火)
小学校算数	11月27日(火)
中学校理科	11月28日(水)
小学校国語	11月30日(金)
中学校道徳	12月14日(金)

※詳細につきましては、各学校に配付する案内文
書及びスクールネットをご覧ください。

編集後記

この半年間で、延べ
3000名を超える先生方
に研修を受講していただ
いています。

佐世保市教育センター
では、秋以降も、授業改
善研修をはじめ多数の研
修を計画しております。
先生方の積極的な受講を
お待ちしております。

佐世保市
教育センターだより

Sasebo City Educational Center

No.266

平成30年9月28日

佐世保市教育センター

佐世保市保立町12-31

TEL (0956) 76-7331



「失敗力」

佐世保市教育委員会学校教育課

主幹 松田 美穂

「本当の失敗は、同じ失敗を繰り返すこと。」
この言葉を初めて聞いたのは、幼い頃父からの
叱責の中であつたと記憶しています。佐藤智恵
氏著「世界のエリートの『失敗力』」には、

「『失敗力』とは、失敗から学び、失敗を自分
の成長に生かす力。つまり失敗から正しく立ち
直る力のことである。」と記されています。本
著には世界最難関の経営大学院、ハーバード大
学経営大学院の課題エッセイの設問も紹介され
ています。その設問とは「あなたは失敗から何
を学びましたか」。ハーバードは2012年ま
での過去数年間にわたって受験者の失敗体験を
重要な可否の基準としてきました。つまり合格
基準は「失敗から学べる人」「失敗しても立ち
上がり、挑戦し続ける人」。失敗したことその
ものよりも、「そこから学べる人か」「立ち直
るために行動できる人か」というのを評価する
のだそうです。入学してから多くの失敗体験を
積むことになるハーバード。そして卒業後は、
グローバルリーダーとしてさらに挑戦して、失
敗して、さらに挑戦することが求められている
のです。

こう考えると、自分は数々の失敗を学びに変
えてきたのだろうか、恥ずかしながら甚だ疑問の
残るところです。今でも自分の戒めとしている
失敗が4年生の「説明文」の授業です。教材文
に対して目的意識を明確にし、主体的に文章に
向き合い、内容を正確に理解できるようにする

ことをねらったものの、多様な文献や研究発表
校の実践事例などを読み漁り、自分勝手なある
べき学習活動像を作り上げ、難題ばかりを子供
に強いてしまったのです。当然、子供の学習意
欲は高まるはずもなく、悩ませただけの授業に
終わってしまいました。その後の授業研究会で
先輩方からバツサリと厳しい指導があつたのは
言うまでもありません。この時の失敗は少なく
とも、子供の実態に基づいたつもり(・・・)で
しかなかった指導の甘さが教訓となりました
が、その学びを生かしているかという赤面す
る思いです。

平成24年8月の中教審答申に「社会の急速な
進展の中で、知識・技能の絶えざる刷新が必要
であることから、教員が探究力を持ち、学び続
ける存在であることが不可欠である」と示され
て以来、「学び続ける教師」であることは、今
や常識化しています。学び続ける力の原動力
は、失敗を力に変えるエネルギーと挑戦し続け
る心だと思います。失敗に向き合うことは決し
て心地よいものではありませんが、失敗を宝と
して抱きしめていく生き方もあっていいのでは
ないか、正しく立ち直る力を身につけると仕事
への向き合い方も変わるの
ではないかと思うのです。



佐世保学び【場】バーガー

Secular training

経年研修 関係法令に基づく研修（中核市研修）

◆初任者研修

■宿泊研修
7月25日（水）、26日（木）
講師 教育センター所員 他

道徳の教材分析、模擬授業等の演習を通して、協同して授業づくりに取り組むことの良さを学びました。また、自然体験活動を通して、初任者同士のネットワークも深まり、大変有意義な研修となりました。



◆中堅教諭等資質向上研修

■ミドルリーダー資質向上研修Ⅲ
8月10日（金）9：30～16：30
講師 教育センター所長 他

午前、自分の働き方や心の様子を見つける講義を行いました。午後は、グループ協議の中で、10年間の実践を初任者に発表し、研修の締めくくりとして最後に所長講話を聴きました。これまでの実践を振り返り、今後に生きる実りある研修となりました。



◆2～5年目研修

■全体研修（2年目）
5月1日（火）14：00～16：30
講師 教育センター所員

2年目として、今何を目標しているのか、何をすべきなのかなどについて整理したり、「組織の一員として」をキーワードにイメージを広げたりすることで、2年目としての具体的な目標を設定することができた研修となりました。



■倫理・服務規律研修（3年目）
6月18日（月）14：00～16：30
講師 教育センター所員

「教職3年目の先生方に期待すること」と題して講義と、各班ごとに分かれてケーススタディによる演習を行いました。感想には、「一つ一つの言動によって多くの人に悪影響を与えてしまうことを学んだ。組織人としての自覚を持ちたい。」等の声が聞かれ、実りある研修となりました。



◆2～5年目研修

■授業力向上研修（2、5年目）
8月8日（水）14：00～16：30
講師 奈良教育大学 教授 赤沢 早人 先生

「子供の資質・能力を育む授業のデザイン」と題して講義と演習を行っていただきました。受講者それぞれが新たに授業改善の視点を持つことができただけでなく、5年目の先生方にとっては、メンターとしての意識も向上できた研修でした。



◆16年目研修

■全体研修
7月10日（火）14：00～16：30
講師 教育センター所員、臨床心理士 富崎 朋子 先生

「組織のリーダーとして期待すること」と題しての講義や「職業性ストレスとの上手な付き合い方」と題して講義・演習を行いました。組織のリーダーとしてどのようなことが求められるのか、また心身ともに穏やかに生きるために自分には何が必要かということについて学ぶ機会となりました。



Professional training

職能研修 教育課程実施上の諸問題を解決し、実践するための基礎的・基本的な研修



■道徳教育推進教師
8月6日（月）14：30～16：30
演題 「『特別の教科 道徳』における授業づくりと評価」
講師 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
基礎研究部 総括研究官 西野 真由美 先生
受講者数 176名
＜受講者感想＞

「教科化の方向性や授業作りの視点がわかりました。教科書の活用や評価についての疑問が解消されました。『道徳は子供が幸せに生きる力を育てるため』の言葉に改めて授業への意欲がわきました。」

Challenge training

課題研修 学校教育推進上の諸問題に対応した内容の研修



■書写・書道
8月17日（金）9：30～16：00
演題 「書写書道の楽しみ・指導法について」
講師 書道家 堤 玉圃 先生 他4名
受講者数 22名
＜受講者感想＞

「心を込めて丁寧に書くことの楽しさを早く子供たちに伝えたいという気持ちになりました。一流の先生に直接ご指導いただけたことはこの夏の宝物になりました。若手の先生方にも受講してほしいと思える研修でした。」

Information Education and training

情報教育研修 ICTの活用に係る教職員の資質向上を図る研修



■教材提示装置の活用法
8月22日（水）9：30～11：30
演題 「教材提示装置の活用法について」
講師 エルモ社インストラクター
受講者数 20名
＜受講者感想＞

「具体例が豊富で、すぐにでも実践できる内容でした。実際に機器を使いながら研修ができたので、とても分かりやすく、新たな操作方法を知ることができ、活用の幅も広がりました。グループ協議等、他の参加者とコミュニケーションをとれる時間があり、理解が深まりました。」



■英会話
8月に全10回実施
講師 長崎県立大学 教授 山崎 祐一 先生
ニコラス・アンドリュー・ケイン 先生
受講者数 10回合計256名
＜受講者感想＞

「外国人の方の生の英語を聞き、ドキドキしてわからない単語もありましたが、推測して活動できました。発音の仕方や学んだ英語表現を実際に授業で使っていきたいです。最初はわからなかった発音も続けて参加することで、わかるようになりました。次年度も継続して受講したいです。」

※今回は、4つの研修を掲載いたしました。他の研修についても、佐世保市教育センターHPの「平成30年度各研修会・講座の様子」に掲載いたしますので、ご覧ください。